

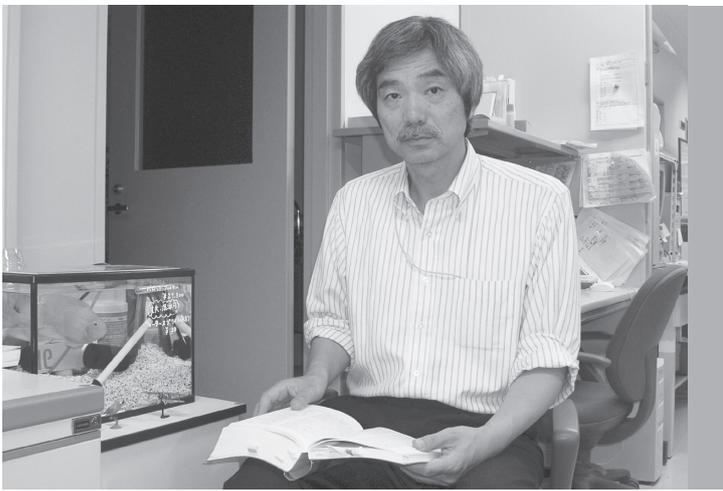
図書館報 みずもと

第23号

2006年10月

— 目 次 —

- 読書について私の考えていること
(材料物性工学科 岩佐 達郎)
- 図書館への感謝と読書
(保健管理センター 鈴木 勇)
- 特集：情報検索
・ Inspecを使ってみよう
・ 図書館の資料を探そう！
- 図書館で使えるこんなサービス
- ものづくりコーナーのご紹介
(機械システム工学科 風間 俊治)
- 新着図書紹介
- 図書館からのお知らせ
- 図書館利用統計・蔵書統計
- 連載エッセイ
とーいっく・とーいっく・TOEIC
(共通講座 寺田 昭夫)



読書について 私の考えていること

材料物性工学科 岩佐 達郎

図書もしくは図書館に関することについて何か書いてくれ、という依頼を受けました。私は自他共に認める活字中毒で、図書館には大変お世話になっていますので、断るいわれはないということで引き受けました。大学図書館には大きな働きとして、学習、研究に必要な情報の提供と、人間的成長に資するための教養の提供が必要であると思っています。本稿では後者との関係で、私が読書について考えていることを書いてみます。

人類はいろいろな個人的体験を文字、言葉によって伝えることを覚えました。サルでも文化的継承（イモ洗い等）はあるようですが、これは実際に見様見真似で伝えられていくものです。つまり個人（個体レベル）で接触がなければ、伝えることは出来ません。人類においても口承文芸等はそういうレベルであり、伝習者が絶えると同時にその情報は消え去ります。ところが文書化された情報は個人が消えても文書が残る限り、残っていきます。我々はそれを読み、時代を超えた、出会うことの無かった人の体験、考え、気持ちを知ることができます。

現代においては種々の情報は電子化され、残されています。その情報量は膨大なものであり、書籍として出版されているものだけでもすべてに触れることは不可能でしょう。また、我々はそれらの情報に触れる手段をいくつも開発しましたし、今後さらに有効(?)な手段を開発していくでしょう。映画、TV、Video、CD等々、これらは基本的には音声情報と視覚(画像)情報を混合したものであり、テキストという視覚情報のみである読書に比べると、その情報量は飛躍的に増しているといえます。

これらの新しい情報伝達手段は受け手側の積極的な関与を要求しません。または、言い換えると、受け手側のスキルを要求しなくなっています。我々がTV、映画のモニターの前で口を開けて待っていれば、ボロボロ情報はこぼれてきます。

昔は文を読むこと、文字を知ることが許されていたのは特権階級の人々のみでした。源氏物語を読むことができた感激を昔の女性が語っています。その文章を読み、私はこ

れに共感できました。新しい本を読むことは新しい世界に入ることでした。新しい体験ができました。これらの情報伝達に簡単に触れることができるようになった我々現代人は幸せであると思います。

すこし、未来的な情報伝達について考えてみます。ヒトでは情報は基本的には脳内に蓄積されているわけです。それが、脳を構成する細胞ネットワークのどのような変化であるのか、脳内細胞のどのような物質的変化であるのかを解明することが、現代の生命科学の主要な研究課題になっています。現在においては、網膜内に画像を投射し、ヘッドフォンから音声を入力し、バーチャルな体験をすることは可能になっています。この段階では、眼や耳というヒト本来の感覚器官を利用していますが、将来的にはヒトの感覚器官を通さずに情報を直接脳内細胞、組織へ入力することも可能になるのではないかと思います。このような情報伝達、疑似体験は受け手側のスキル、選択を排除してしまうように思えます。本当にそうであるかどうかは現在のところ、わかりません。我々の脳がどのように情報を選択、処理するのか、本当のところはわかっていませんから。

読書は本と読み手の1対1の対話です。良い本は深く読めば、それだけ深く答えてくれます。わかりにくくなったら、ゆっくりと読み直すこともできます。そのためには読み手が良き読み手に成長していくことが望まれます。また、読書の楽しみにはそのように自己の成長の過程を確認しつつ、楽しむということも含まれているのではないのでしょうか。

情報伝達の手段がいろいろと変わっていったとしても、読書と文書化された本は残っていくと思います。少なくとも、読書という楽しみが消えることはないでしょう。



図書館への 感謝と 読書

保健管理センター 鈴木 勇



このタイトルは原稿を依頼してくれた図書館への単なるリップサービスではない。私のこれまでの生活の中で一番お世話になった公共施設が他ならぬ図書館なのである。その図書館を一つの中心とした私の読書生活は模範的なものではなからうが、昔の青少年はこんな本を読んでいた程度の参考として、以下の文章を読んでいただければ幸いである。

振り返ると私は10歳くらいまでは人間らしくなかった。今でも十分に人間らしいかと問われると、ためらうことなしには返答できないのだが、自分を客観的に認識することがなかったという意味でまさに野生児であった。本を読むようになり、自分の中に客観性が芽生えたのが10歳の頃だったような気がする。その頃本に興味を持つようになったきっかけは道德の副読本に載っていた『レ・ミゼラブル』だったように思う。ジャンバルジャンが教会から銀の燭台を盗む有名な1節である。その前後のストーリーが知りたくて図書室に行き、『レ・ミゼラブル』と『ああ無情』がどうやら同じ小説らしいことを知った。これが思い出せる限りにおいて意識的に図書室(図書館)を訪ねた最初である。

この思い出深い『レ・ミゼラブル』については熟知していると思っていたが、実際はそうでもなかった。10数年前、家内とロンドンに行った時に偶然このミュージカルを観た。天井桟敷の様な席からでさえすばらしいと思える出来であったが、一箇所だけ腑に落ちないところがあった。ジャンバルジャンを追う刑事が突然橋の上でぴょんとジャンプしたのである。ミュージカル終演後、私は家内に尋ねた。「川を泳いで追いかけるなんてことが原作にあったかな？」と。彼女の話では川を泳いで追いかけたのではなく、刑事はジャンバルジャンを執拗に追いかけたことを悔いて川に身を投げたのだそうだ。皆さんはどちらが正解だと思いますか。

中学生になってからは文庫本を読むようになった。強く印象に残っているのは『どくとるマンボウ航海記』と『車輪の下』である。『どくとるマンボウ航海記』のような旅

シリーズは後になって『何でも見てやろう』や『太平洋ひとりぼっち』、『深夜特急』などに繋がり、実際旅好きになった。『車輪の下』は軽い陶酔感を覚えながら読んだような気がする。今では笑われるかも知れないが、ストイックで線が細い主人公の少年が自分の様な気がしたのだ。

高校生の時は小説では遠藤周作の『沈黙』に感銘を受け、ルポルタージュでは本多勝一の著作に影響された。私はクリスチャンではないが『沈黙』はある種の緊張感を持って読んだ。遠藤周作の他の多くの著作や、大学生になってからは同じカトリックの作家である加賀乙彦の作品なども読んだが、今までのところ宗教については解かったという実感を持ったことはない。朝日新聞の記者であった本多勝一には強く影響を受けすぎて、高校を卒業する頃は新聞記者になりたいと思っていたほどである。特にベトナムと中国のルポが良かった。古い本ばかり挙げると思われるかも知れないが、『中国の旅』を読むと靖国問題の参考にはなると思う。

肝心の大学生の頃は何を読んでいたかということ、教科書と漫画以外ではユング派の心理学者である河合隼雄や精神科医の島崎敏樹の著作、そして月並みだが『罪と罰』や『戦争と平和』などを読んだ。『戦争と平和』は読み終えるのに半年もかかった。暇だから読めたような気がする。そう言えば『ライ麦畑でつかまえて』をペーパーバックで読んだのも大学に入った頃だ。卒業後はジェフリー・アーチャーやケン・フォレットをよく読んだ。『大統領に知らせますか?』や『レベッカへの鍵』は英語の勉強にもなるのでお勧めである。

以上、思い出すままに印象に残っている本を挙げたが、その大部分は図書館で借りて読んだ。特に大学生の頃は漫画と教科書以外はあまり買わなかった。借りた本を喫茶店でコーヒーを飲みながら読むことが多く、コーヒー代がない時には図書館の隅の静かな所で、座り心地の良い椅子を選んで読んだ。今も昔も図書館で静かな場所を探すのに苦労することがあるが、これからも静かな図書館を守る立場になる様に心がけたいと思っている。

コンピュータで学術情報Get！

“Inspec”を使ってみよう

○Inspec (インスペック) とは

IET(The Institute of Engineering and Technology)が作成しているデータベースで、物理学、電気工学、制御工学、コンピュータ技術、通信技術、情報技術分野を中心に、約 5400 種類の学術雑誌、会議録、技術報告書等から、1969 年以降 800 万件を超える(2006. 1 現在)文献情報が収録されています。

本学では今年 4 月からオランダの Elsevier 社が提供するサービス“Engineering Village”を介して、Inspec を検索することが可能となりました。

URL: <http://www.engineeringvillage.org/>

The screenshot shows the Engineering Village website interface. At the top, there is a navigation bar with links for Search History, Selected Records, My Profile, My Alerts, and End Session. Below this is a search navigation menu with options: Easy Search, Quick Search, Expert Search, eBook Search, Ask an Expert, and Help. The main search area is titled "Inspec" and contains several sections:

- SEARCH FOR:** Three input fields for search terms, each with an "AND" dropdown menu.
- SEARCH IN:** Three dropdown menus, each set to "All fields".
- LIMIT BY:** Four dropdown menus for "All document types", "All treatment types", "All disciplines", and "All languages".
- SORT BY:** Radio buttons for "Relevance" (selected) and "Publication year", and a checkbox for "Autostemming off".
- Filters:** A date range filter set to "1969 TO 2006" and a "1 Updates" filter.
- Buttons:** "Search" and "Reset" buttons.

On the left side, there is a "Personal Account" section with "Register or Login" links, a "Username:" field, a "Password:" field, and a "Login" button. Below that is a "More Search Sources" section with links for Referex, IHS Standards, USPTO, Esp@cenet, Scirus, and I xisNexis News.

On the right side, there is a "Browse Indexes" section with a list of index types: Author, Author affiliation, Controlled term, Serial title, and Publisher.

At the bottom, there is a "Search Tips" section with the following text:

- Use truncation (*) to search for words that begin with the same letters. comput* returns computer, computers, computerize, computerization
- Truncation can also be used to replace any number of characters internally. sul*ate returns sulphate or sulfate
- Use wildcard (?) to replace a single character. wom?n retrieves woman or women
- Terms are automatically stemmed, except in the author field, unless the "Autostemming off" feature is checked. management returns manage, managed, manager, managers, managing, management
- To search for an exact phrase or phrases containing stop words (and, or, not, near), enclose terms in braces or quotation marks.

○検索してみよう

Easy Search Quick Search Expert Search eBook Search Ask an Expert Help

Inspec

SEARCH FOR
robot soccer

SEARCH IN
All fields

AND

AND

LIMIT BY
All document types
All treatment types
All disciplines
All languages

SORT BY
Relevance Publication year
Autostemming off

1969 TO 2006
1 Updates

Search Reset

Browse Indexes ?
Author
Author affiliation
Controlled term
Serial title
Publisher

検索したい言葉を検索窓に入力し、[Search]ボタンをクリックするだけ。

“Robot” と “Soccer” というキーワードを両方含んだ論文を検索してみると、1329 件の論文がヒットしました。

Engineering Village Search History - Selected Records - My Profile - My Alerts End

Easy Search Quick Search Expert Search eBook Search Ask an Expert

Refine Search New Search Next Page 1-25

Results Manager
Select all on page - Select range: to 99 - Clear all on page - Clear all selections
Choose format: Citation Abstract Detailed record Clear selected records on new search
View Selections E-Mail Print Download Save to Folder

Search Results
1329 records in Inspec for 1969-2006 Save Search - Create Alert - RSS ?
+((robot soccer) WN All fields)
Sort by: Relevance Date Author Source Publisher
1. Development of intelligent vision fusion based autonomous soccer robot
Chung-Hsien Kuo (Graduate Inst. of Med. Mechatronics, Chang Gung Univ., Tao-Yuan, Taiwan); Chun-Ming Yang; Fang-Chung Yang Source: 2005 IEEE International Conference on Mechatronics (IEEE Cat. No. 05EX1025), 2005, p 124-9
Database: Inspec
Abstract - Detailed - 学内所蔵

Refine Results
Include E
Author
Asada, M. (70)
Veloso, M. (69)
Stone, P. (53)
Kitano, H. (35)
Noda, I. (25)
Hong, Bing Rong (21)
Nebel, B. (21)
Schmitt, T. (19)
Tambe, M. (18)
Uchibe, E. (17)
Author affiliation
Dept. Of Comput. Sci., Carnegie Univ., Pittsburgh, Pa (44)

右側の“Refine Results”を使えば、著者や著者の所属機関、論文の書かれた年や論文本文の言語等々、様々な条件での絞り込み検索も簡単にできます。

○検索結果

□ 12. RoboCup: robot world cup

Kitano, H. (Sony Comput. Sci. Lab., Tokyo, Japan); Asada, M.; Noda, I.; Matsubara, H. **Source:** *IEEE Robotics & Automation Magazine*, v 5, n 3, Sept. 1998, p 30-6

Database: Inspec

Abstract - Detailed - **Full-text** - 学内所蔵

本学の蔵書検索(OPAC)を検索し、学内での所蔵状況を確認できます。

The screenshot shows the IEEE Xplore search results page. The top navigation bar includes 'Abstract - Detailed - Full-text - 学内所蔵'. The main content area displays the article title '1. RoboCup: robot world cup' by Kitano, H.; Asada, M.; Noda, I.; Matsubara, H. The abstract is visible, and there are links for 'Abstract | Full Text: PDF(1432 KB)'. A callout box points to the 'Full-text' link, stating that electronic journals have links to their respective sites. Another callout box points to the '学内所蔵' link, explaining that it checks the university's OPAC for local holdings. A third callout box points to the 'Abstract' link, stating that it allows reading the abstract (copy).

Abstract(抄録)を読むことができます。

Abstract: RoboCup is an attempt to foster intelligent **robotics** research by providing a standard problem. **technologies** can be integrated and examined. The First **Robot World Cup Soccer Games and Conference** during IJCAI-97, Nagoya, with over 40 teams participating from throughout the world. RoboCup **soccer** fast-moving **robots** in a dynamic, noisy environment. In order for a **robot** team to actually perform a **soccer** must be incorporated including: design principles of autonomous agents, multi-agent collaboration, **st** reasoning, **robotics**, and sensor-fusion. This article describes technical challenges involved in RoboCup-97, and future perspectives (7 refs.)

Inspec controlled terms: cooperative systems - inference mechanisms - intelligent control - mobile robots fusion - software agents

○さらに便利に

また、ユーザー登録(無料)を行うことにより、検索履歴の保存機能や、あらかじめ指定した検索式に合致した論文がデータベースに新規登録されたらメールで知らせてくれるアラート機能等、“Engineering Village”をより便利に利用することができます。

The image shows a screenshot of the Engineering Village website interface. On the left, there is a 'Personal Account' section with fields for 'Register or Login', 'Username', and 'Password', and a 'Login' button. A mouse cursor points to the 'Register or Login' link. To the right, there are search filters for 'All disciplines', 'All languages', and a date range from 1969 to 2006. Below these is a 'Search Tips' section. A large box highlights the 'Create Your Personal Account' form, which includes fields for Title, First Name, Last Name, E-mail address, Password, and Confirm password, along with a checkbox for receiving information and 'Submit', 'Cancel', and 'Reset' buttons.

Inspec は学内 LAN に接続された PC からであれば、24 時間いつでも利用することができます。論文作成や研究テーマの情報収集等に是非ともお役立てください。

詳細は図書館ホームページ
(<http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>)をご覧ください。

図書館の資料を探そう！～図書編～

=蔵書検索システムを使ってみよう=

皆さんは図書館で本を探すとき、どうしていますか？大学図書館で所蔵している資料は膨大な量です。その中から、必要な資料を手早く確実に入手するには、蔵書検索システム(OPAC)を活用してください。これは室蘭工業大学で所蔵している20万冊の資料を検索することができるツールです。ウェブ上で公開していますので、図書館はもちろん、研究室や自宅などどこからでも利用できます。

○室蘭工業大学附属図書館 蔵書検索OPAC

室工大蔵書検索システムには、「簡略検索画面」とより詳しい項目で検索できる「詳細検索画面」があります。

簡略検索画面 (<http://svopac.lib.muroran-it.ac.jp/>)

標準検索画面のキーワード欄に文字を入力すると、書名・著者名・件名のすべての項目を検索します(件名とは資料の主題をあらわす語です)。

Point!

図書のタイトルや著者名がはっきりわからないときは、キーワードとなる用語を入力してみましょう！

詳細検索画面

より詳しい条件で検索する場合は、詳細検索画面を利用してください。

検索結果の見方

見つかった図書がどこにあるのかは、「所蔵一覧」画面の「配置場所」と「請求記号」を確認します。

室蘭工業大学附属図書館
蔵書検索 **OPAC**
多言語 English
多言語表示について

購入希望図書申込
ベストリーダー
新着資料
利用者情報
電子ジャーナルタイトルリスト
以下は図書館内のOPAC専用

所蔵一覧(2件)

巻号: 発行日:

No.	巻号	配置場所	請求記号	資料ID	貸出可否	状態	期限日	予約	受入日
1.		1F一般図書	430	422299					2003.07.31
2.		1F一般図書	430	422300					2003.07.31

書誌詳細

和図書<TW00303992>
書名・著者名等 環境と人にやさしい化学 / 田中春彦著||カンキョウトヒト ニヤ
サシイカガク
版 改訂版
出版者・出版年 東京: 培風館, 2003.3
形状・大きさ vi, 157p; 21 cm

「請求記号」順に書架(本棚)に並んでいます。

「配置場所」は、学内のどこで所蔵しているかを表示します。

「1F一般図書」は図書館1階の一般図書コーナーです。

「図書館配置図」は、カウンターや、館内 OPAC のそばにあります。

請求記号を確認する



請求記号



→ 分類番号

資料の内容を数字で分類し、主題(テーマ)で表しています。各数字の表す主題は、館内の掲示を参照してください。



→ 分類番号

→ 著者記号

請求記号が、913.6/Mu43 などの場合は？

小説など、一部の資料は請求記号に著者記号が含まれています。

同じ分類番号の資料は著者記号のアルファベット順に並んでいます。



探している資料が見つからないときは、遠慮せずにカウンターの職員に聞いてみましょう。カウンターでは、館内の案内やデータベースの使い方など、皆さんが資料を探すお手伝いをしています。

図書館では利用者の皆さんへ多数のサービスをご用意していますが、皆さんはどのくらい利用されていますか？

ここでは、図書館で使えるサービスを、いくつかご紹介します。

サービスカウンターに聞いてみよう！

この本はどこにあるの？（所蔵の調査）、この分野の文献を探しているのだけど・・・（論文の調査）、電子ジャーナルってどうやって使うの？（EJ等の使い方説明）など、あなたの調べモノのお手伝いをします。何かありましたら、お気軽にサービスカウンターへご相談ください。



知っているとも便利、資料の貸出・返却

・自動貸出返却装置（ABC装置）

コンピュータを使って、図書の貸出と返却処理が行えます。タッチパネル画面を、音声ガイドの説明のとおりにより操作するだけでとても手軽に処理が行えます。

・貸出更新

図書館から借りた本は、予約が入っていない場合1回に限り貸出更新をして貸出期間を延長することができます。手続きは図書館カウンターで行います。

・夜間特別貸出

図書館には事典や参考書など貸出禁止の資料（＝禁帯出資料）がありますが、これらの資料を夜間の閉館時間帯に限り特別に貸出するサービスです。貸出は、閉館の30分前からサービスカウンターで受付けています。



・ポスト返却サービス

休館日や閉館時間帯に、返却ポストから資料の返却ができます。返却ポストは、図書館正面入右横に設置していますので、返却口に資料を投函してください。

館内施設を利用しよう ※利用手続きはサービスカウンターで行います。

・視聴覚室（8ブース）

各ブースにDVDプレイヤーなどのAV機器を設置しています。語学学習用のCDや音楽CD、映画のDVD等のソフトを多数揃えています。



・グループ学習室（2室）

グループ（10名程度）での学習のための学習室です。ホワイトボードやAV機器を設置している部屋もあり、ミーティングにも利用できます。



・個室（4室）

個人学習用の学習室で、1室2～3名までで使用できます。1回の利用は2時間までとなります。

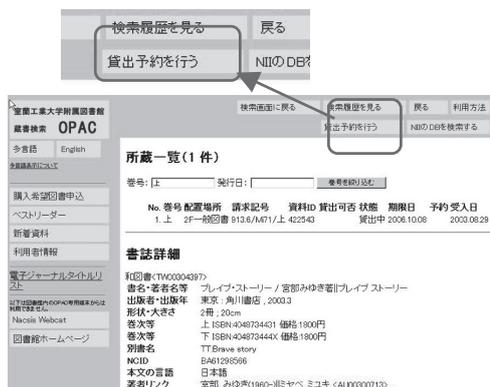
図書館ホームページからの申込みと確認

・利用者登録

利用者登録を行うと、図書館ホームページから次のようなサービスを利用することができます。

- ① 図書の貸出予約
- ② 貸出状況の照会（貸出資料・資料の返却期限・貸出停止期間）
- ③ 図書購入リクエスト申込み
- ④ 予約情報の確認

初めてご利用の際には、サービスカウンターで利用者登録用の初期パスワードを取得してください。



・貸出予約

使用したい図書が貸出中の場合、貸出予約を入れることが出来ます。OPAC（蔵書検索システム）で予約したい図書を検索し、検索結果画面の右上に表示される「貸出予約を行う」から予約手続きをします。予約はサービスカウンターでも受付しています。

・ILL（文献複写・現物借用）申込み（有料サービス）

必要としている図書や雑誌が、図書館に所蔵していない場合、その資料を所蔵している他の図書館から、論文のコピーを取寄せたり、現物（図書のみ）を借用することができます。オンラインでこれらの申込みを受付しています。





現在、図書館では、「ものづくり」に関する書籍の特別コーナーを設けています。(19年3月末まで予定) ぜひご利用ください。



「ものづくり関係図書コーナー」のご紹介

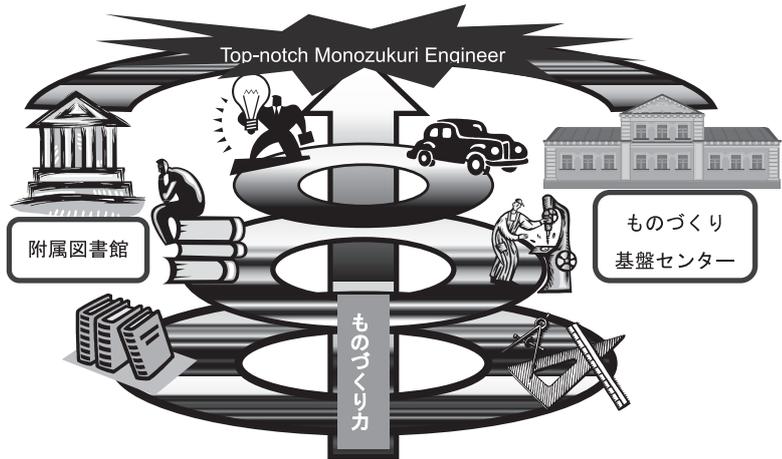
— 書物を通して「ものづくり力」をしっかりと身につけよう —

機械システム工学科 風間 俊治

今年(2006年1月26日)、「ものづくり基盤センター」が設置されました。ものづくり基盤センターは、皆さんの「ものづくり力」を高める場を提供するとともに「ものづくり活動」を支援するセンターです。現在、旧実習工場の改修や工作機械・工具類の整備を行い、ハード面の充実を図っています。平行して、ホームページ(<http://www.muroran-it.ac.jp/medec/>)の開設や「ものづくり」に関する情報の収集と発信を通して、ソフト面の充実を進めています。後者の一環として、「ものづくり」に関する書籍類を蒐集して、今夏、附属図書館に「ものづくり関係図書コーナー」を開設しました。

さて、「ものづくり力」とは何でしょうか?ものをつくるためには、実際にものを作り出す機械・装置や機器・工具とそれらを使いこなす高度な技能や時代に即した技術が必要です。しかし、それだけでは「よいものづくり」はできません。「ものづくり力」には、自然科学から人文社会までの幅広い知識や経験、体験に裏打ちされた知恵も必要です。さらに、現象をよく観察して本質を見抜く力、ものごとを多面的にみて問題を自ら発見する力、論理的に筋道を立てながら方策を探り出して解決する力、ユニークな発想や創造によりアイデアを具現化する力、情報を調べて整理する力なども含まれるでしょう。これらの力を培うためには、広く深くものごとを学び、意識して情報を収集し、常に自分の頭で考える習慣が求められます。

科学技術が急速に発展し、社会構造が益々複雑化する今日、「ものづくり」の現場では、分野を問わず、毎日が新しいことへの挑戦です。最新の情報を手短かに得るには、テレビやインターネットの利用は効果的かもしれませんが、しかし、正しい知識や知恵をしっかりと身につけるためには、一見、回り道に思えるかもしれませんが、やはり「読書」と「思索」に勝る方法はないと言えます。



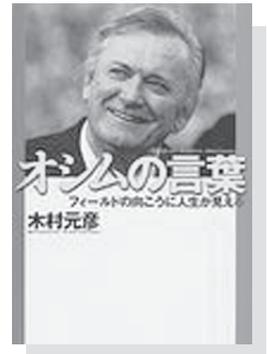
一流のエンジニア (Top-notch Engineer) として活躍するためには、ものごとの本質を捉えるための原動力となる知識と前途多難な壁を打ち破るための知恵が不可欠です。学科によって「ものづくり」の捉え方や教育内容は異なりますが、工科系大学で学ぶ皆さんには、卒業までに「ものづくり力」をしっかりと身につけて頂きたいと思えます。「ものづくり力」を持っていれば、将来、どのような技術工学分野に進んだとしても、きっと、役に立ちますよ。

「オシムの言葉：フィールドの向こうに人生が見える」

木村元彦著 集英社インターナショナル 2005. 12

(配架場所：2F 開架書架 159. 8/078)

第16回ミズノスポーツライター賞最優秀賞受賞作。ユーゴ紛争をテーマにもつノンフィクションライターとしての著者の誠実な取材姿勢が光る。数学者への道を捨て東京オリンピック等で活躍した現役時代、民族対立激化のなか指揮をとった統一ユーゴ最後の代表監督時代、弱小チームであったジェフを初のタイトルに導いたJリーグ監督時代など、現日本代表監督イビチャ・オシムの人生は興味深い逸話にあふれている。



「クリエイティブ・コモンズ：デジタル時代の知的財産権」

ローレンス・レッシング 他著 NTT出版 2005. 3

(配架場所：1F 開架書架 007. 3/L56)

プロパテント・プロコピーライトの動きが加速し、創作物の共有への制限が強くなると、自由なコンテンツの利用が妨げられることになりかねない。本書は現行の著作権法の考え方とその問題点、デジタル著作物に見合った知的財産権の考え方を解説している。ローレンス・レッシングはブラウザーを巡る独禁法違反を巡って争われた米司法省対マイクロソフトの裁判でスペシャルマスターに任命されたことで一躍脚光を浴びたサイバー法の第一人者である。



「陰日向に咲く」

劇団ひとり著 幻冬舎 2006. 1 (配架場所：2F 開架書架 913. 6/G32)

ホームレスに憧れる中年サラリーマン。身を削って売れないアイドルにのめり込むおたく青年。簡単に体を許してしまう女性フリーター。ギャンブルで借金まみれになりオレオレ詐欺に手を出す男。浅草ストリップ劇場の売れないコンビ芸人。冴えない主人公たちの独白による笑いあり、涙ありの連作短編集。お笑い芸人であり、最近ではドラマなどでも活躍する劇団ひとりの処女作。イロモノ扱いするのは勿体無い巧さを感じる良質な小説である。



「永遠の旅行者(上・下)」

橋玲著 幻冬舎 2005. 7 (配架場所：2F 開架書架 913. 6/Ta13/上・下)

租税回避の究極とも言われる PT (Perpetual Traveler=永遠の旅行者) で、元弁護士の主人公は、見知らぬ老人から奇妙な依頼を受ける。「20億円の資産を、日本国に1円も税を払うことなく、息子にではなく16歳の孫娘に相続したい。」ハワイ、東京、香港、ニューヨーク等々を舞台に繰り広げられる物語は、日本の現代史、登場人物らの記憶の暗部を紐解きつつ進む。オフショアを中心とする圧倒的なまでの金融知識、要所で行われる二重チェからの引用も印象的である。



休業期土日開館と開館時間変更について

今年度から、長期休業期間（夏期・冬期・春期）の土曜日・日曜日の開館を、開始しました。
また、通常授業期間も合わせて、土曜日・日曜日の開館時間が変更になりました。

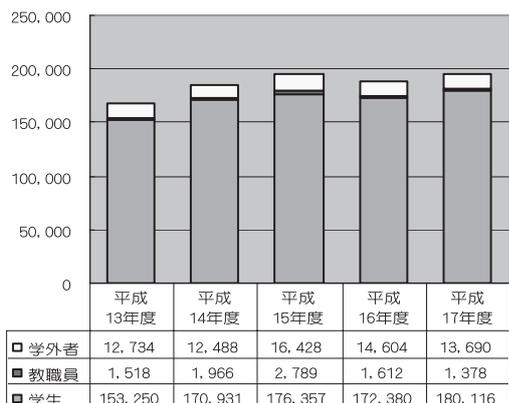
- 土曜日 … 9:30～17:00（通年）
- 日曜日 … 10:30～17:00（通年）
- 平日① … 9:00～21:00（通常授業期間）
- 平日② … 9:00～17:00（長期休業期間）
- 休館日 … 国民の祝日、年末年始（12月28日～1月4日）

詳しい開館案内は、みずもと裏表紙の「図書館開館カレンダー」をご覧ください。

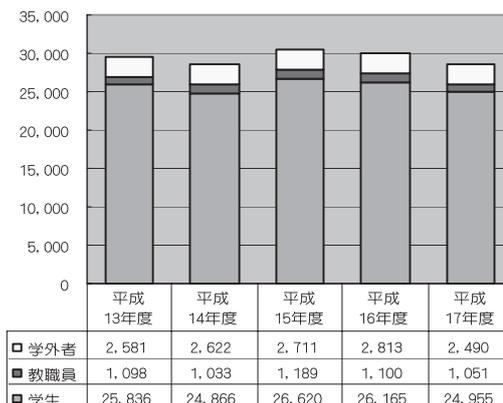


図書館利用統計

年度別入館者数

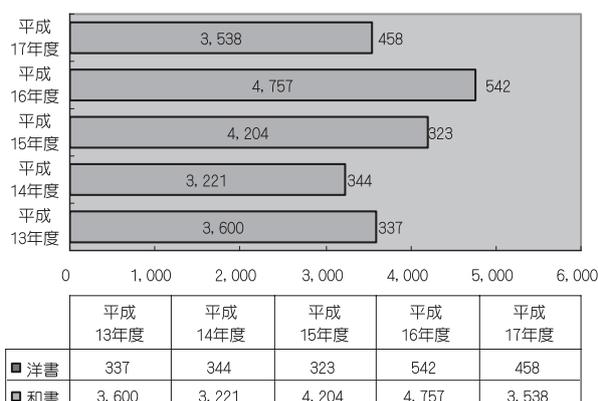


年度別貸出冊数

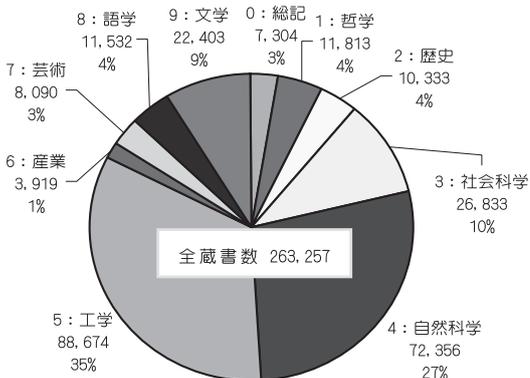


図書館蔵書統計

年度別受入図書冊数



平成17年度分野別蔵書統計



とーいっく・とーいっく・TOEIC

～エッセイふう～ (その2)

共通講座 寺田 昭夫



前回は本学学生の「カレッジ TOEIC」の結果を資料として提示し、Grammar の重要性を強調して締めくくった。その後、『英語口』という妙なタイトルの本を読んだが、そのはしがきの中に次のような一節があった。「私はアメリカにいたときに、アメリカ人と結婚している多くの日本人の男性、女性と知り合う機会があった……アメリカ人と30年も結婚していても、英字新聞の三面記事でさえきちんと読めない人がほとんどなのである。テレビになるとなおさら分からないと異口同音に言っていた。こういう人は日常会話もきちんとした英語ではなく、いわゆる一般に言うブロークンイングリッシュなのである」その理由として著者(市川敬三)は「英語の土台、すなわち英語の構造を作っている英文法をきちんとマスターしていなかったからなのである」と書いている。というわけで、しつこいようだが再度 Grammar を強調しておきたい。

「カレッジ TOEIC」のスコアで Reading Section が極端に悪いと前に触れたが、これはなにも本学の学生に限ったことではないらしい。それを反映するかのように最近文法書が続々と出版され、NHK の TV 講座でも取り上げている。上記の本もその一つだが、「イメージで覚える」、「ハートで感じる」などと副題を付けているものが多い。甘いことばで魅きつけようという魂胆なのだろうが、私としては、「黙って」やるっきゃないと思っている。高校時代までに学習したはずのことをしっかり身に付けて欲しいと願っている。文法項目のうち、比較・不定詞・分詞・動名詞・関係代名詞・関係副詞・仮定法などが中核をなす。

7月の「英語 A」期末試験の英作文に「夏は北海道に行く最もいい季節だ」を出してみた。Summer is the best season to visit Hokkaido. あたりが、無難な英訳だろうが、正解率は50%チョット。the を落としたり、visit to にしたり……文法の知識が不足しているからだ。

無論 Grammar だけでは不十分で、語彙を増やすことが課題になる。英語で会話を楽しもうといっても、イカ、タコ、マグロ、ニシン、サバ、イワシ、タラ、ホタテ、ナマコ……イモ、ニンジン、ナス、ネギ、タマネギ、ハウレンソウ、ダイコン、ピーマン…和英辞典を引きながらでは、食事を話題にできないだろう。TOEIC に即していえば、イカ、タコもさることながら、もっと実際的な日常生活、職場などで使用する Vocabulary を覚えることだ。

周知のことと思うが、今年の6月から TOEIC の出題内容が変更された。Listening Section はほぼ同じだが、Reading Section は大幅に改良された。Part VI の誤文訂正問題は全面削除。つまり設問形式と考えていたのでこれはいいことだ。代わって語彙力、文法力を問う問題が増える傾向にある。

以上2回にわたってだらだら述べてきたが、要するに、There is no royal road to learning. (「学問に王道なし」)ということ。「TOEIC 検定英語」(2単位)のための自習用教材にも学内 LAN を通じてアクセスできる。優れた native speaker も今年から3人になった。立派な鐘も撞かねば鳴らぬ。環境は整った。あとは……

平成18年度後期 図書館開館カレンダー

開館 時間 区分	1	2	9:00~21:00	1	2	9:30~17:00	1	2	休館日
	1	2	9:00~17:00	1	2	10:30~17:00			

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	*3
*4	5	6	7	8	9	*10
*11	*12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

*印のついた日は定期試験のため、開館時間は以下のとおり延長します。
土曜日/9:00~21:00 日曜日・祝日/10:00~21:00

編集発行 室蘭工業大学附属図書館

〒050-8585 北海道室蘭市水元町27番1号

TEL : 0143-46-5189 FAX : 0143-46-5196

図書館のホームページ <http://mitlib.lib.muroran-it.ac.jp/>